

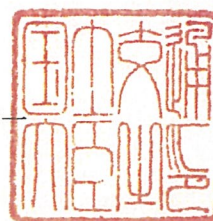


認 定 書

国 住 指 第 2432 号
平成 30 年 11 月 30 日

ニチハ株式会社
代表取締役社長 山中 龍夫 様

国土交通大臣 石井 啓一



下記の構造方法等については、建築基準法第 68 条の 25 第 1 項（同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法施行令第 1 条第五号及び第 108 条の 2 第一号から第三号まで（準不燃材料）の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号
QM-0944
2. 認定をした構造方法等の名称
アクリル樹脂系塗装／木繊維混入セメントけい酸カルシウム板
3. 認定をした構造方法等の内容
別添の通り

（注意）この認定書は、大切に保存しておいてください。



(別添)

1. 材料名

アクリル樹脂系塗装／木繊維混入セメントけい酸カルシウム板

2. 形状及び寸法等

項 目	仕 様			
形 状	1)、2)のうち、いずれか一仕様とする			
	1)		2)	
	平板		溝付板(表面凹)	
表 面 形 状	1)、2)のうち、いずれか一仕様とする 1)平滑 2)エンボス(最大深さ：14.0mm)※1			
100cm ² あたりの 表 面 積(cm ²)	平滑	エンボス	平滑	エンボス
	100	150以下※1	334以下※1	401以下※1
厚 さ(mm)	14.0 _{±1.0} ～35.0 _{±3.0}		14.0 _{±1.0} ～35.0 _{±3.0}	
質量(kg/m ²) (絶乾状態)	15.4 _{±1.5} ～38.5 _{±3.8}		13.3 _{±1.3} ～38.5 _{±3.8}	

※1：基材厚さ9.5mm以上を満足すること(別添-3のt2)、別添-4 表-2、別添-5 表-3参照

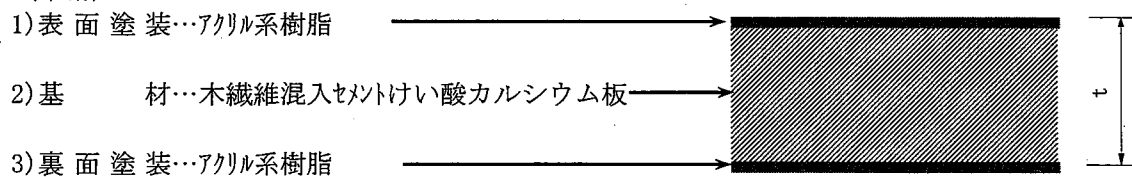
3. 材料構成

項 目	仕 様										
表 面 塗 装	<p>アクリル系樹脂</p> <p>・質量$200 \pm 20 \text{g/m}^2$ (固形量) 以下 (有機質量$100 \pm 10 \text{g/m}^2$ 以下)</p> <p>・組成 (質量%)</p> <table border="0"> <tr> <td>アクリル系樹脂</td><td>.....$15 \pm 2 \sim 85 \pm 8$</td></tr> <tr> <td>無機質系顔料 (酸化チタン、酸化鉄等)</td><td>..... 0~85 ± 8</td></tr> <tr> <td>無機質系充てん材 (炭酸カルシウム)</td><td>..... 0~85 ± 8</td></tr> </table> <p>※無機質系顔料と無機質系充てん材の合計は15以上とする</p>	アクリル系樹脂	 $15 \pm 2 \sim 85 \pm 8$	無機質系顔料 (酸化チタン、酸化鉄等)	 0~ 85 ± 8	無機質系充てん材 (炭酸カルシウム)	 0~ 85 ± 8				
アクリル系樹脂	 $15 \pm 2 \sim 85 \pm 8$										
無機質系顔料 (酸化チタン、酸化鉄等)	 0~ 85 ± 8										
無機質系充てん材 (炭酸カルシウム)	 0~ 85 ± 8										
基 材	<p>木繊維混入セメントけい酸カルシウム板：1)、2)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>1) 平板</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厚さ$14.0 \pm 1.0 \text{mm} \sim 35.0 \pm 3.0 \text{mm}$ ・質量$15.4 \pm 1.5 \text{kg/m}^2 \sim 38.5 \pm 3.8 \text{kg/m}^2$ (絶乾状態) (有機質量$6.9 \pm 0.6 \text{kg/m}^2$ 以下) ・かさ比重1.10 ± 0.2 (絶乾状態)、真比重1.10 ± 0.2 (絶乾状態)、 ・組成 (質量%)^{※2} <p>2) 溝付板 (表面凹)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厚さ$14.0 \pm 1.0 \text{mm} \sim 35.0 \pm 3.0 \text{mm}$ ・質量$13.3 \pm 1.3 \text{kg/m}^2 \sim 38.5 \pm 3.8 \text{kg/m}^2$ (絶乾状態) (有機質量$6.9 \pm 0.6 \text{kg/m}^2$ 以下) ・かさ比重$0.95 \pm 0.2 \sim 1.10 \pm 0.2$ (絶乾状態)、真比重1.10 ± 0.2 (絶乾状態) ・組成 (質量%)^{※2} ・表面凹形状 <ul style="list-style-type: none"> ・溝深さ : 15.0mm 以下^{※3} <p>※2：組成 (質量%)</p> <table border="0"> <tr> <td>セメント質原料 (セメント、けい酸質原料)</td><td>.....$70 \pm 4 \sim 79 \pm 4$</td></tr> <tr> <td>木繊維 (木繊維、木片、木質系繊維等)</td><td>.....$11 \pm 1 \sim 15 \pm 1$</td></tr> <tr> <td>無機質系混和材 (マイカ、無機質系骨材等)</td><td>..... $3 \pm 1 \sim 14 \pm 1$</td></tr> <tr> <td>有機質系混和材 (パルプ粉、ポリスチレンビーズ等)</td><td>..... $1 \pm 1 \sim 3 \pm 1$</td></tr> <tr> <td>無機質系繊維 (ガラス繊維等)</td><td>..... 0 ~ 1 ± 1</td></tr> </table> <p>※3：基材厚さ9.5mm以上を満足すること (別添-3のt2)</p>	セメント質原料 (セメント、けい酸質原料)	 $70 \pm 4 \sim 79 \pm 4$	木繊維 (木繊維、木片、木質系繊維等)	 $11 \pm 1 \sim 15 \pm 1$	無機質系混和材 (マイカ、無機質系骨材等)	 $3 \pm 1 \sim 14 \pm 1$	有機質系混和材 (パルプ粉、ポリスチレンビーズ等)	 $1 \pm 1 \sim 3 \pm 1$	無機質系繊維 (ガラス繊維等)	 0 ~ 1 ± 1
セメント質原料 (セメント、けい酸質原料)	 $70 \pm 4 \sim 79 \pm 4$										
木繊維 (木繊維、木片、木質系繊維等)	 $11 \pm 1 \sim 15 \pm 1$										
無機質系混和材 (マイカ、無機質系骨材等)	 $3 \pm 1 \sim 14 \pm 1$										
有機質系混和材 (パルプ粉、ポリスチレンビーズ等)	 $1 \pm 1 \sim 3 \pm 1$										
無機質系繊維 (ガラス繊維等)	 0 ~ 1 ± 1										
裏 面 塗 装	<p>アクリル系樹脂</p> <p>・質量$100 \pm 10 \text{g/m}^2$ (固形量) 以下 (有機質量$85 \pm 10 \text{g/m}^2$ 以下)</p> <p>・組成 (質量%)</p> <table border="0"> <tr> <td>アクリル系樹脂</td><td>.....$15 \pm 2 \sim 85 \pm 8$</td></tr> <tr> <td>無機質系顔料 (酸化チタン、酸化鉄等)</td><td>..... 0~85 ± 8</td></tr> <tr> <td>無機質系充てん材 (炭酸カルシウム)</td><td>..... 0~85 ± 8</td></tr> </table> <p>※無機質系顔料と無機質系充てん材の合計は15以上とする</p>	アクリル系樹脂	 $15 \pm 2 \sim 85 \pm 8$	無機質系顔料 (酸化チタン、酸化鉄等)	 0~ 85 ± 8	無機質系充てん材 (炭酸カルシウム)	 0~ 85 ± 8				
アクリル系樹脂	 $15 \pm 2 \sim 85 \pm 8$										
無機質系顔料 (酸化チタン、酸化鉄等)	 0~ 85 ± 8										
無機質系充てん材 (炭酸カルシウム)	 0~ 85 ± 8										

4. 構造説明図(寸法単位: mm)

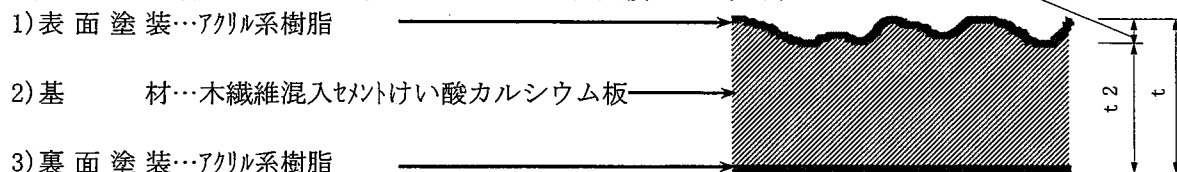
◆平板

(平滑)



$$t = 14.0 \sim 35.0$$

(エンボス: 最大深さ14.0mm、100cm²あたりの表面積150cm²以下)



$$t = 14.0 \sim 35.0$$

$$t2 = 9.5 \text{以上}$$

表-1 平板エンボスありの最大エンボス深さ、最大表面積

厚さ(mm)	最大エンボス深さ (mm)	100cm ² あたりの 最大表面積(cm ²)
14.0	4.5	115
15.0	5.5	119
16.0	6.5	122
⋮	⋮	⋮
18.0	8.0	130
⋮	⋮	⋮
21.0	10.0	137
⋮	⋮	⋮
25.0	12.0	143
⋮	⋮	⋮
30.0	14.0	150
⋮	⋮	⋮
35.0	14.0	150

記載無き厚さについては、次のようにする。

- ・最大エンボス深さ14.0mmかつ、基材厚さ9.5mm以上を満足すること
- ・最大表面積は、その記載無き厚さより薄い厚さの最大表面積とする

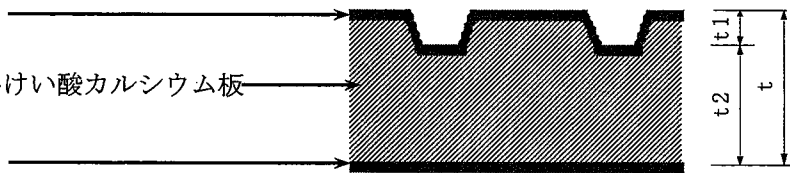
◆溝付板(表面凹)

(平滑)

1)表面塗装…アクリル系樹脂

2)基 材…木繊維混入セメントけい酸カルシウム板

3)裏面塗装…アクリル系樹脂



$t = 14.0 \sim 35.0$

$t1 = 15.0$ 以下

$t2 = 9.5$ 以上

・表-2 溝付板(表面凹) (平滑) の最大溝深さ、最大表面積

厚さ(mm)	最大溝深さ(mm)	100cm ² あたりの 最大表面積(cm ²)
14.0	4.5	188
15.0	5.5	211
16.0	6.5	236
⋮	⋮	⋮
18.0	8.0	258
⋮	⋮	⋮
21.0	10.0	261
⋮	⋮	⋮
25.0	12.0	302
⋮	⋮	⋮
30.0	15.0	334
⋮	⋮	⋮
35.0	15.0	334

記載無き厚さについては、次のようにする。

- ・基材厚さ9.5mm以上かつ、表-2の最大溝深さを満足すること
- ・最大表面積は、その記載無き厚さより薄い厚さの最大表面積とする

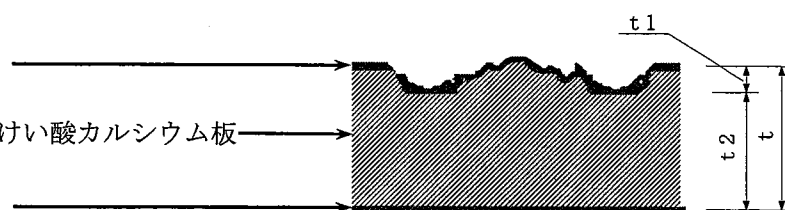
◆溝付板(表面凹)

(エンボス：最大深さ14mm)

1)表面塗装…アクリル系樹脂

2)基 材…木繊維混入セメントけい酸カルシウム板

3)裏面塗装…アクリル系樹脂



$t = 14.0 \sim 35.0$

$t1 = 15.0$ 以下

$t2 = 9.5$ 以上

・表-3 溝付板(表面凹)(エンボス)の最大エンボス深さ、最大溝深さ、最大表面積

厚さ(mm)	最大エンボス深さ(mm)	最大溝深さ(mm)	100cm ² あたりの 最大表面積(cm ²)
14.0	4.5	4.5	196
15.0	5.5	5.5	221
16.0	6.5	6.5	248
：	：	：	：
18.0	8.0	8.0	271
：	：	：	：
21.0	10.0	10.0	309
：	：	：	：
25.0	12.0	12.0	332
：	：	：	：
30.0	14.0	15.0	401
：	：	：	：
35.0	14.0	15.0	401

記載無き厚さについては、次のようにする。

- ・最大エンボス深さ14.0mmかつ、基材厚さ9.5mm以上かつ、表-3の最大溝深さを満足すること
- ・最大表面積は、その記載無き厚さより薄い厚さの最大表面積とする

5. 注意事項

本仕様を施工するに当たっては、所定の防火性能が損なわれないように材料端部及び目地部の処理を適切に行う必要がある。